

JR南武線 久地駅前



このまちとともに



ついに「かすみ堤」が保全されること！

住民の皆さんの10年の運動が実を結ぶ

◆防災・減災を図るため国が保全
2月24日、高津区長と建設緑政局長名で、国がかすみ堤を河川として保全するとのうれしい報告が届きました。国土交通省京浜河川事務所は、豪雨による水害の頻発や激甚化が想定されることから、防災、減災を図るため、将来にわたり国がかすみ堤を所有し河川として保全するとしました。市は、「引続き現状の形で維持されると聞いているが、今後の取扱等は、地元及び京浜河川事務所と検討の場を持つ」と述べています。

◆住民の皆さんの熱意が議会を動かす
かすみ堤の売却計画が国から示されたのは2007年、住民の皆さんが取組んだ「歴史と緑の保全を」「災害時の避難場所としても残して」の議会請願は07年8月、全会一致で採択、議会から国に意見書が提出されました。



08・09年度に住
民のワークショッ
プ等が開かれ10年
度調査費の予算が
つきました。20
13年には、再度

の議会請願が出され、趣旨採択されました。



◆子どもたちにかすみ堤の歴史を伝える
昨年の2月に久地小の3年生200人が課外学習でかすみ堤を訪問、「かすみ堤を保存する会」のみなさんは、多摩川が暴れ川だった歴史等を伝え大変好評だったとの事。看板づくりや、水仙の花を咲かせるなどの活動が続けられました。

◆住民のみなさんと一緒に
石田議員は、07年の5・6月に住民とともに市環境局に緑地の保全と京浜河川事務所に売却中止の要請、8月に高津区長に要望書提出に同席しました。

○昨年6月議会で、防災の観点から保存を！と要望
石田議員は、昨年6月議会の一般質問で、2015年9月の関東・東

北豪雨において鬼怒川と渋井川の堤防が決壊し、茨城県日立市と宮城県大崎市で多大な被害がもたらされるなど、ゲリラ豪雨や台風により毎年のように全国で水害が多発していると指摘し、かすみ堤を防災の観点からも保存するようしっかりと国と協議することを、高津区長と建設緑政局長に要望しました。

緑ヶ丘霊園の桜53本が
倒木の危険から伐採
順次更新すると答弁
予算審査特別委員会質問
毎年、お花見で賑わう緑ヶ丘霊園の桜が多数伐採されているとの声が寄せられ苗木の植替えについて質問しました。建設緑政局長は「平成22年から24年にかけて樹木診断を実施したところ、倒木や枝折れの危険性がある53本の伐採を平成27年度までに完了した。今年度から、霊園入口付近より更新を実施し、来年度以降更新の取組を進める。現在桜の樹は400本ある」と答弁しました。



久地駅の橋上駅舎のスケジュール 今後の取組の方向性示される

2010年2月、川崎市は武蔵溝ノ口駅以北の片側改札口5駅（津田山、久地、宿河原、中野島、稲田堤）について、地域分断の改善や踏切利用の安全を確保するため「南武線アクセス向上方策案」を策定。その際、久地駅の橋上駅舎化の案は示されていましたが、2月8日、新たな事業展開の方向が示されました。

◆久地駅の今後のスケジュール
久地駅と中野島駅は乗降者数、歩行者交通量などから評価すると次期整備駅は中野島駅、久地駅の順番となる。しかし中野島駅は橋上駅舎ができるまでの間、暫定的な臨時改札

口を設置することになり、最優先するとした稲田堤駅は事業用地の確保に時間を要する事から、久地駅の整備スケジュールは稲田堤駅や中野島駅の進捗によって工事着手の時期を見定めると示されました。

◆共産党の代表質問で久地駅の
早期整備を求める（3月議会）
久地駅の朝も狭い道路と駅前広場、踏切に人が溢れ危険な状態であり、稲田堤駅の着工が久地駅より先になった場合、その工事が終わってから段階的に行なうのではなく、こういう時こそ予算のやりくりをしてどんな場合でも最短で着工すべきと質問しました。▼まちづくり局長は「今後

中野島駅及び久地駅の今後のスケジュール (2/8まちづくり局資料より)

年度	中野島駅	久地駅
29	臨時改札口設計	調査設計
30	臨時改札口工事*1 臨時改札口供用開始予定*2	基本設計*1
*1 平成29年度の取り組みを踏まえ予算化にむけた調整等を行うものとする		
*2 供用開始は今後のJR東日本等との協議調整において決定するものとする		

市内保育所等申し込み状況（1次利用調整終了時）

平成29年1月27日現在

区 名	平成29年4月入所分			平成28年4月入所分		
	利用申請 児童数	内定数	入所 保留数	利用申請 児童数	内定数	入所 保留数
川崎区	1,238	836	402	1,095	785	310
幸 区	1,299	921	378	1,151	850	301
中原区	2,288	1,301	987	2,035	1,172	863
高津区	1,734	998	736	1,566	983	583
宮前区	1,437	1,017	420	1,387	1,009	378
多摩区	1,385	955	430	1,202	799	403
麻生区	819	621	198	682	513	169
全市計	10,200	6,649	3,551 ^①	9,118	6,111	3,007

【参考】区別定員数増減（H28.4→H29.4）

（定員は保育所、地域型保育事業、認定こども園を対象としています）

	川崎区	幸 区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	合 計
平成28年4月	3,226	3,190	5,127	3,795	3,570	3,586	2,245	24,739
平成29年4月	3,475	3,535	5,524	3,942	3,855	3,871	2,404	26,606 ^②
増 減	249	345	397	147	285	285	159	1,867

「表」のように、17年4月の認可保育所の定員は2万6606人（ア）。新規の利用申請者1万2000人のうち、1月27日現在、入所出来なかったのは3551人（イ）でいずれも過去最多に。約35



「表」のように、17年4月の認可保育所の定員は2万6606人（ア）。新規の利用申請者1万2000人のうち、1月27日現在、入所出来なかったのは3551人（イ）でいずれも過去最多に。約35%が入れませんでした。人口増と入所申請急増に対応を

待機児解消にむけて提案 入所保留児過去最多！ （共産党代表質問）

共産党川崎市議団が昨年10月から始めた「市民生活に関するアンケート」の回答は3月初めまで4260通余をいただきました。ご協力ありがとうございました。ご意見、要望の欄には「年金生活の高齢者にとって年金減少、社会保険料の増加は死活問題」「保育園に入れない。いつまで保活すればいいのか」「サービスクラスや長時間労働の問題が解決されていない」など切実な声がたくさん書かれておりました。63%の方が暮らし向きが「苦しくなった」

市民生活に関するアンケート2016

——全市で4260通の回答——



と回答されています。市政で力を入れてほしいのは保育園の待機児解消、教育費の保護者負担の軽減、介護保険料・利用料の軽減などでした。地元要望も生活道路の傷みや排水溝のつまり、踏切の混雑、道路の白線が消えている等多数寄せられています。現地を確認し、要望書を道路公園センターに提出し対応を求めました。

放射線測定を行いました

毎年この時期に行なっている放射線量測定を2月12日行ないました。昨年とはほぼ同じ線量でした。川崎市は空間放射線量0.19マイクロシーベルト/時以上の場合に除染の対象としています。原発事故がおきた2011年には4回測定し、2012年から年1回測定してい



ます。数値の単位はマイクロシーベルト/時です。

	2017年 2/12	2016年 2/11	2015年 3/2	2014年 2/3	2013年 2/8
溝口北公園滑り台下	0.05	0.05	0.06	0.07	0.10
二子公園かのこの塔付近	0.06	0.05	0.08	0.09	0.11
坂戸公園側溝	0.05	0.05	0.05	0.06	0.07
物置の脇	0.07	0.08	0.07		
向ヶ丘東公園 落葉だまり	0.05	0.05			0.11

年29.03%から16年33.68%と保育ニーズが急増しています。

①こうした実態を「子どもの未来応援プラン」の整備計画に反映し、定員枠の拡大目標値を引き上げるべきである

②新年度当初予算案の1802人の定員増を図る整備では、圧倒的に不足すると指摘し、4月の実態をみて、必要な補正予算を組む事を求めました。

③東京都のように公有地の再調査を全庁あげて行ない、情報提供し、園庭のある認可保育所の整備に全力を挙げる事、引き続き市営住宅の建替えの際や公立保育所の仮設園舎（公有地）の跡地に整備すべきと質問しました。

子ども未来局長の答弁は

① 今年の秋頃までに予定している当プランの中間評価の中で検証を行ない、教育・保育の量の見込みと確保方策を見直し、計画に反映する。

② 4月の就学前児童数や申請者数の実績を踏まえ、当初予算案に計上した整備を着実に進めるとともに、保育需要の増大が見込まれる地域にお

いて新たに整備が可能となった場合など、状況変化に柔軟に対応しながら、保育の受入枠の確保を進めて参りたい。

③ これまでも、本市の低未利用地や事業予定地を始め、県、国の用地情報を把握し利用を図っている。今後についても立地環境や地域の保育需要を勘案した上で関係局と連携しながら、公有地等の利用可能な資源は最大限に活用して、積極的に保育所の整備に努めて参りたい。

小黒恵子童謡記念館プレオープンコンサート



〈高津区諏訪〉
リニューアル
オープンを4月
1日・2日にひ
かえらる月26日、
市主催のプレコ

ンサートが開かれホールは満席でした。庭には大木が茂り、たくさん鳥や生き物、自然を愛した小黒恵子さん作詞の童謡が、桜井純恵さん指揮により、「児童合唱団なかよしくらぶ」と「フラワーサークル」のみなさんが合唱。とても感動しました。